

日本型放牧推進シンポジウム開催要領

1 趣旨

肉用牛の周年親子放牧は、従来の放牧と比べ、哺育の省力化や放牧馴致の容易さ、発情発見の確実さなどの長所があり、省力・低コスト生産の効果が非常に大きく、肉用牛経営の体質強化と競争力の強化を図るためには、このような特長を持った肉用牛周年親子放牧を推進することが重要である。

今回のシンポジウムでは、このような放牧の取組事例を紹介するとともに、より望ましい放牧を実施するための留意点について話題提供を行い、より省力で低コストな放牧の推進に資することとする。

2 日時

平成30年3月15日(木) 9:00~15:30

3 場所

シンポジウム：別府豊泉荘「梅の間」(大分県別府市青山町5番73号)

電話：0977-23-4281、FAX：0977-25-3798

<https://www.housensou.jp/access/>

現地研修：(有) 富貴茶園(豊後高田市)

耕作放棄地を不耕起造成法で牧草地化し周年親子放牧で子牛を低コスト生産している事例

4 内容

【シンポジウム(9:00~12:00)】

(1) 開会 挨拶

(2) 情勢報告(9:05~9:20)

「放牧を巡る情勢について」

講師：農林水産省生産局畜産部飼料課 飼料専門官 大門 憲明

(3) 事例発表(9:20~10:40)(40分×2事例)

①里山での肉用牛周年親子放牧の実践

講師：(有) 富貴茶園 永松 英治 氏

②アグロフォレストリー(林畜複合 クヌギ林の周年放牧)の取組み

講師：小野 今朝則 氏

【休憩】

(4) 話題提供(10:50~11:50)

「日本型放牧の目指す姿 ―牛との信頼関係を維持しつつ生産性を追求―」

講師：農研機構 西日本農業研究センター 農業生産体系研究領域
農業経営グループ長 千田 雅之 氏

(5) その他

「放牧認証制度について」11:50~12:00

講師：(一社) 日本草地畜産種子協会 主幹 三上 隆弘

(6) 閉会 挨拶

【現地研修（14:10～15:30）】

場所：（有）富貴茶園（豊後高田市）

- ・現地説明者：（有）富貴茶園（永松英治氏）又は地元振興局など
（現地研修会終了（15時30分）後、JR宇佐駅（到着16時15分頃）
又はJR 別府駅（到着16時50分頃）までバスでお送りします。）

5. 参集範囲

畜産農家、JA、都道府県、市町村、地方農政局 等

6 主催

農林水産省、大分県、（一社）日本草地畜産種子協会、大分県草地飼料協会